



顧客との信頼関係を築くことが変わらず重要になる。安全や法令順守、品質確保の意識を徹底し、企業理念である「わたしたちは確かなものづくりを通して豊かな社会の実

道路舗装

NIPPON

和田 千弘 社長

CNへ舗装用建機を電動化

現に貢献します」を確実に実行することが根幹となる。将来的な再上場に向け、大日本土木や長谷川体育施設、日鋪建設といったグループ会社との協力体制をより強固なものにしていく。

資機材や労務費などの上昇が続いている。同様の状況に置かれているサプライチェーン(供給網)の関係先の要請に真摯(しんし)に耳を傾け

る。アスファルト合材の価格は運賃込みの現地着単価が上昇していないことが採算低下の一因となっている。日本アスファルト合材協会(日合協)による国土交通省や建設物価調査会への製品単価と運賃を分離する働き掛けが改善の契機になるか注視していく。

カーボンニュートラル(CN)関連は工事現場で舗装用建設機械の電動化などに注力

する。合材工場では二酸化炭素(CO₂)削減に向け、約2割の工場で使用する燃料を重油から都市ガスに転換し、再生可能エネルギーで製造した「カーボンニュートラルガス」も一部で使用している。

海外ではタイとベトナムで現地舗装会社に出資し合材工場を運営している。タイでは国の工事で再生合材が使用されるようになってきた。ベトナムでは再生合材需要が出てきたので再生プラントに投資していく。

